

「韓国の野心・統一教会と自民党が日本を内部から韓国化」

自民党が1955年の創立時に笹川良一こと朝鮮人・文堯（統一教会の文鮮明と同じ本貫・朝鮮の本籍地）に多額の資金提供を受けて立党した政党であることは、以前からおいらのHPでも取り上げ、日本における統一教会の布教に尽力したのは笹川であることを暴露（元笹川の秘書氏から取材）していましたが、その関係は現在でも続いており、安倍政権にも統一教会とズブズブの関係にある議員が多数いることが判明しました。何故、韓国などの半島国家が自国よりもはるかに国力のある日本に”上から目線”で無礼な態度を取り続けるのか？の理由の一つと思われます。以下の記事は日本の自民党には甘いことを言う一方で、韓国の信者に対しては「日本の韓国化」を進めるように幹部に話していたという驚くべき内容ですが、これらの動きに何の手も打たない自民党はもはや「日本国の保守政党」としては失格レベルの「反日政党」であることを物語っています！日本を守るためにはこうした怪しいカルト集団とは関わりを持たない”真の保守・愛国政党”を一刻も早く立ち上げるべきでしょう！（#ー）

安倍政権と蜜月の関係を築く一方で、統一教会・韓鶴子総裁が日本の幹部に下していた仰天指令

2019・6/9(日) 8:32 配信

HARBOR BUSINESS Online

安倍政権と蜜月の関係を築く一方で、統一教会・韓鶴子総裁が日本の幹部に下していた仰天指令

日本の幹部“公職者”に国家復帰指令を下す韓鶴子総裁（U-ONE ニュースより）

<政界宗教汚染～安倍政権と問題教団の歪な共存関係・第13回>

昨年9月、韓国で行われた日本人幹部“公職者”を対象にした修練会において、統一教会（世界平和統一家庭連合）の最高権力者である韓鶴子総裁が日本や安倍晋三首相を見下す発言をしていたことが入手した教団内部資料から明らかとなった。

⇒【画像】広島への原爆投下を引き合いに悔い改めるよう迫る韓鶴子総裁の“み言”（教団内部資料／下線は筆者）

そこには、統一教会を日本の国教にするという“国家復帰プロジェクト”を目論む韓鶴子の仰天指令が書かれていた。衝撃の内部文書を公開・検証する。

本連載ではこれまで自民党安倍政権と統一教会が共存・協力及関係にあることを指摘してきた。

しかし、筆者が入手した教団内部資料には、その緊密な関係を揺るがしかねない韓鶴子総裁のトンデモ発言が記されていた。その内容は、広島へ原爆が投下されたことを引き合いにして日本に悔い改めるよう諭すとともに、日本の教団幹部に対し国家復帰のために日本の「最高指導者」「最高責任者」つまり安倍晋三首相をひっくり返して打ち負かし、屈服させ、教育をしなければならぬと指示するものだ。

教団メディアでは問題箇所をカットして配信

問題発言が飛び出したのは2018年9月23日。教団聖地・韓国清平の天正宮博物館で徳野英治・日本教団会長や梶栗正義・国際勝共連合会長／UPF会長らを筆頭に日本の幹部公職者が全員参加し開かれた『天地人真の父母様主管神日本家庭連合公職者孝情清平特別修練会／特別集会』の場だった。

この時の韓鶴子の“み言（みことば）”の一部は教団系のPeaceTVが配信しているHJグローバルニュースや世界平和統一家庭連合公式チャンネルのU-ONEニュースで9月28日に公開された。しかし、両ニュースで流れた韓鶴子の“み言”からは、対外的には公表できない国家復帰に関する重要箇所、日本や安倍首相を見下す発言がカットされていた。

両ニュースで流れた韓鶴子の発言は以下のものだ。

PeaceTV・HJグローバルニュース（2018年9月28日）

「3日間、悔い改めをたくさんしましたか 皆さんは、国家の復帰をどのようにすれば責任を完成することができるかについて、多く努力し考えたことでしょうか 皆さん、これからは堂々と、日本が進むべき道について見せてあげ、教えてあげ、教育しなければなりません 本当に日本を愛し歴史の残る人物になりたければ、まず家庭から夫婦が一つとならなければなりません そして、日本の国民の前に、見本を見せてあげなければなりません それゆえ、家庭連合の祝福を受けなければならぬと教育しなければなりません 時を逃してはいけません どれだけ切迫し、一方では、希望に満ちた勝利を満喫することのできるこのような祝福を下さったこの時において、皆さんが奇跡をつくりださなければなりません 奇跡を！分かりましたか？ 創造主、天の父母様ありがとうございます このように、世の中で生きていこうとすればとても辛いことでしょうか 多くの問題が起こりそれらを解決しなければならず、苦しいです しかし、家庭があり その家庭と結ばれた情 そのような愛を歌うことのできる環境が この秋夕節にお月見をする気分です 分かりましたか？ それでは、皆さんと私がこのような月を、秋夕をあと何回、迎えることができるでしょうか？ たくさん、たくさん、迎えられたら良いでしょう そのためには皆さんが責任をしっかりと果たしてくれなければなりません 責任！分かりましたか？ そうするでしょうか？」

世界平和統一家庭連合公式チャンネル・U-ONE ニュース (2018年9月28日)

「3日間 (の修練を通して) たくさん悔い改めましたか 皆さんは国家の復帰に対してどのようにして責任を完成できるか、たくさん努力し考えたと思います 聖和6周年を迎えましたが6年前 そのようにお父様が逝かれると思いましたが 思いませんでしたか (思いませんでした) ときを逃してはいけないのです どれほど切迫しているか…… 反面 希望に満ちた勝利を満喫できるこのような祝福を下されたこの時に 皆さんが奇跡を起こさなければなりません 奇跡を、分かりましたか 皆さんが責任を果たしてくれなければなりません 分かりましたか やってくれますか 」

この内容だと、対象が曖昧で何が問題発言だったのか判然としない。ではこれらの放送でカットされたのはどのような“み言”だったのか。

何がカットされていたのか

筆者が入手した教団内部資料には、この時の韓鶴子の“み言”の最重要箇所がまとめられていた。以下をよく読んでほしい。HJ グローバルニュースやU-ONE ニュースではカットされていた文言が多々あることが判るだろう。

ちなみに「この国」とは韓国のことであり、“み言”に挟まれた「(原爆が落ちました)」「(そうです)」「(はい)」「(思いませんでした)」はそれぞれ、修練会に参加していた日本の幹部たちが一斉に応答している台詞だ。

「3日間、悔い改めをたくさんしましたか。皆さんは、国家の復帰に対してどのようにすれば責任を果たせるかについて、たくさん努力して考えたことでしょうか。来年は(3・1独立運動以来)建国100周年となる年です。この100年の期間に多くの出来事、悲劇的な事情がたくさんありました。その中心の張本人だった国は、第2次世界大戦直後の4大国であったけれども、もちろん日本もありました」

「1945年にこの国は日本から解放されました。その日本はアジアと世界を自分たちが取ると考えて、1941年には米国を相手にして真珠湾を攻撃して失敗したでしょう。大した民族です。おそれ多くも、アジアで大国だと言うロシア、中国も恐れる米国を相手にしたのです。それで結果は1945年に広島に何が落ちましたか。(原爆が落ちました)。その歴史的事実に対して、日本の悲惨な環境だけを考えるのではなく、その背後を考えなければなりません。悔い改めなければなりません。どのように間違ったのか、悔い改めなければなりません。」

「民主主義と共産主義の対立、これは人間が責任を果たせなかったのです。このような状況から更に、特にアジアについて見るとき、日本はたくさんのおちを犯しました。このような歴史に対して、この民族は多くの義人が命をかけました。この独り娘が成長して、責任を果たすことができるそのような年齢が16、7歳です。そのことについてみる時、この国には、独立のために叫んだ柳寛順という烈士がいます。16歳で抱いた、その志は変わりませんでした。それで、日本がその柳寛順をどのようにしたのですか。人間としては、さらには世界の民主主義が全世界的に広がっているそのときに、人間としては、更に女性に対して、そのように残酷にすることはできません。そうでしょうか、そうではありませんか？(そうです) 誤まったことがあまりに多くあります。」

その国の最高指導者を屈服させる

「皆さんは、必ず国家の復帰の責任を果たすと決意しました。国家の復帰の責任を果たすにおいて、まずはその国の最高指導者を（私たちの教えで）打ち負かさなければなりません。屈服させなければなりません。何を言っているか分かりますか。そのために、私が多くのことをしてあげたではないですか。日本が世界に目を向け、アジアを考えることができるように、その様に教育しているではないですか。皆さんが今や、堂々と日本が進むべき道に対して、見せてあげ、教えてあげ、教育しなければなりません。そのため、家庭連合の祝福を受けなければならぬと教育しなければなりません」

「歴史を通じて、私たちは見てきたではないですか。天の前に責任を果たすべき民族や人が責任を果たせない時に、どのような蕩滅を受けてきたか、私たちは、見てきたし、知っています。そうであれば、皆さん、皆さんは日本に責任を負った人たちです。日本を愛する人たちです。そうであれば、日本が責任を果たすことができるように、最高責任者からひっくり返しておかなければならないですか、そうですか、そうではないですか。」

「今や日本の世界日報も、政治活動をするにおいて、教育材料とし勉強することができるように、そのように新聞社が発展しなければなりません。ここに世界日報の社長来たの？。名前も希望も出せない世界日報となつては、その名前が恥ずかしいです。世界日報は、世界を教育する新聞とならなければならないのに。政治界、学界、知識人たちが、まず第一に見る新聞として作らなければなりません、わかりましたか？」

「今まで国民連合や、勝共連合は何をしたの。これからは責任を120%果たすUPF活動とならなければなりません。（はい）返事だけせず、深刻（原文ママ）に考えてみなさい。聖和6周年を迎えたのに、6年前、そのようにお父様が行かれると思いませんか。思いませんでしたか（思いませんでした）時を逃してはいけません。どれだけ切迫していて、一方では希望に満ちた勝利を堪能することができるこのような祝福を下さったこの時に、皆さんが奇跡をつくりださなければなりません。奇跡、わかりましたか？」

日本の総理大臣は韓鶴子に侍る存在!?

「国の指導者」とは通常「国家で最も政治的権力を持つ人物」を指す。日本で言うと内閣総理大臣である安倍晋三が該当する。韓鶴子の一連の発言は、日本の指導者つまり安倍晋三総理大臣を「自分たちに侍る存在」として見ていることに他ならない。

これまで統一教会は数十年に渡って自民党議員を中心に秘書・運動員などのスタッフ派遣を行ってきた他、近年の国政選挙では安倍首相の依頼で特定候補者に組織票を投入、教団関連媒体の『世界思想』や『世界日報』、そして2世信者組織・勝共UNITEなどを駆使しその政策を後押ししてきた。しかし今回、教団内部では安倍晋三総理大臣を屈服と教育の対象として見下していることが明らかになった。

こうして罪悪感を刷り込まれ、国家復帰の責務を負わされた日本の教団幹部が末端信者を駆り立て、末端信者が一連の正体隠し勧誘や靈感商法などを行ってきたという構図だ。

「奇跡」とは

韓鶴子の“み言”には『奇跡』という言葉が頻繁に出てくる。教団内部資料には「奇跡が起こる」として「氏族メシヤ、国家復帰、世界復帰」と記載がある。それぞれの信者が開拓者となって430家庭を伝道し、その430家庭が“神氏族メシヤ”として伝道活動をすれば、その先には国だけでなく世界が統一教会に教化されるという単純なネズミ算的思考が見てとれる。

韓鶴子に侍らされる日本の国会議員たち

2017年7月に山本朋広ら日本の国会議員団をアメリカ外遊へ連れて行ったUPFの梶栗正義会長が、翌月の集会で韓鶴子にこう報告していたことは当連載で触れた。

「私たちがお母様が準備してくださったアメリカの摂理を輝かせるために日本において何がなせるのか、宋龍天会長・徳野栄治会長と共に多くの悩みをしてきました。（中略）日本からも日本の国会議員をワシントンに連れて行ってNYのお母様に挨拶をさせる、これはどうだろうか。このような計画を立てたわけです」

やはり日本の国会議員を韓鶴子に侍る存在として捉えていることが判る。

金正恩から韓鶴子への招待状

今年5月8日の韓国SBSの報道によると、同日、韓国“統一教（家庭連合）”の対外協力本部長が会見し「北朝鮮の金正恩委員長から今年1月1日に招待状が届いており、韓鶴子総裁が来年平壤に行く準備ができている」「世界平和国会議員連合に参加している全世界の国会議員約900人と一緒に行く案を考えている」と発表した。

世界平和国会議員連合に参加している日本の国会議員の中では、2017年2月、韓国で韓鶴子から直接国家復帰の指令を受けた自民党の山本朋広国防部長・武田良太副幹事長そして柳本卓治参議院憲法審査会会長がこの韓鶴子訪朝団ご相伴議員の候補に上がる。

自民党の国防部長や副幹事長を務める議員が、日本と時の総理大臣を見下す反社会的団体の最高権力者とともに北朝鮮へ行くのか要注目だ。

その他、2016年の米大統領戦直後に安倍—トランプ会談を実現させたとされ、外務省幹部が「不愉快な非公開ルート」と呼ぶ韓鶴子人脈が、安倍—金正恩会談もお膳立てをするのか注視される。

杉田水脈・柳本卓治・西村明宏…続々と発覚する統一教会系イベント出席議員

次稿では、今年4月に杉田水脈議員が勝共連合ダミー団体・熊本ピュアフォーラム主催のイベントで講演した案件や、翌5月に柳本卓治議員が出席し衆議院議員会館で開かれた日韓トンネル推進イベントなど、連綿と続く自民党国会議員と同教団の関係を検証する。（文中敬称略）

<鈴木エイト（やや日刊カルト新聞主筆）・Twitter ID：@cult_and_fraud> すぎきえいと●滋賀県生まれ。日本大学卒業 2009年創刊のニュースサイト「やや日刊カルト新聞 10月の衆院選の際に統一教会の青年信者グループを運動員として使っていたというのだ。」で副代表～主筆を歴任。2011年よりジャーナリスト活動を始め「週刊朝日」「AERA」「東洋経済」「ダイヤモンド」に寄稿。宗教と政治というテーマのほかに宗教やスピリチュアルの2世問題、反ワクチン問題取材しトークイベントの主催も行う。共著に『徹底検証 日本の右傾化』（筑摩選書）

～引用資料～

PeaceTV

HJ グローバルニュース (2018年 9月 29日)

世界平和統一家庭連合公式チャンネル

U-ONE ニュース 2018年9月28日号

<鈴木エイト（やや日刊カルト新聞主筆）・Twitter ID：@cult_and_fraud> すぎきえいと●滋賀県生まれ。日本大学卒業 2009年創刊のニュースサイト「やや日刊カルト新聞」で副代表～主筆を歴任。2011年よりジャーナリスト活動を始め「週刊朝日」「AERA」「東洋経済」「ダイヤモンド」に寄稿。宗教と政治というテーマのほかに宗教2世問題や反ワクチン問題取材しトークイベントの主催も行う。共著に『徹底検証 日本の右傾化』（筑摩選書）

ハーバービジネスオンライン

更に、自民党が統一教会とズブズブの関係にあるという記事も。

原田環境大臣、就任前に杉田水脈議員との講演会で韓国大統領を「文鮮明」と失言<政界宗教汚染～安倍政権と問題教団の歪な共存関係・第12回>

HARBOR BUSINESS Online / 2019年5月16日 8時33分

写真

保守系団体の集会で講演した3人の国会議員。左から原田義昭、杉田水脈、中山成彬

2018年10月2日に発足した第4次安倍改造内閣。環境大臣に抜擢されたのは統一教会（世界平和統一家庭連合）と昵懇関係にある代議士だった。この議員は初入閣直前、杉田水脈議員らと出演した講演会で韓国の大統領の名前を「文在寅」ではなく統一教会の教祖である「文鮮明」と言い間違え、教団との親密さを伺わせた。筆者は講演後の失言代議士を直撃、その際に現環境大臣が見せた意外過ぎる反応とは。

そしてこの時期に同教団の青年大会に連続して来賓出席し「文鮮明先生に感銘し学習をさせていただいておる」と挨拶した恥ずべき政治家も判明した。

◆厳戒態勢の杉田水脈講演会

2018年9月19日、筆者は保守系団体『南京戦の真実を追求する会』の主催する講演会に赴いた。登壇者は杉田水脈、中山成彬、原田義昭という3人の代議士。講演会の題目は「外務省目覚めよ！南京事件はなかった」というもの。

『新潮45』2018年8月号に掲載された杉田の寄稿文『LGBT支援の度が過ぎる』の中の「彼ら彼女らは子どもを作らない、つまり『生産性』がないのです」との記述が社会問題となって以降、公の場での発言をほとんどしていなかった杉田が登壇するとあって、会場は厳戒態勢。講演に先立って司会者から撮影や録音を禁止するとの旨が告げられた。

しかしながら、入場料を徴収するイベントで講演する国会議員に関し、そのような制限を課すのはおかしいことだ。筆者は主催者サイドのアナウンスを聴き流し、取材活動を行った。

杉田に関しては今年4月、当連載の第10回で言及した国際勝共連合のダミー組織・熊本ピュアフォーラムが主催した会で講演し、自民党の地方議員らとパネルディスカッションを行っている。その経緯については杉田事務所の見解を含め、今後の記事で取り上げる。

◆目的は杉田水脈ではなく原田義昭

但しこの段階、つまり2018年9月の時点で筆者が取材対象としていたのは杉田ではなかった。筆者の目的は、登壇者の一人である原田義昭衆議院議員（自民党・福岡5区）だ。

自民党の歴史認識問題を担う「国際情報検討委員会」委員長という役職にあった原田だが、筆者は歴史認識問題で原田を追ってきたわけではない。予てから原田が統一教会・家庭連合と昵懇関係にあることを掴み、直接問い質す機会を狙っていたのだ。

原田は数年来、教団が安倍政権礼賛と憲法改正の後押しのため2世信者に行わせている政治組織・勝共UNITEによる福岡での集会に複数回来賓として参加している他、2018年8月、教団が開催した『PEACEROAD』なるプロジェクトの九州大会の全体会議で演説もしている。

また、同月上旬ブラジル・サンパウロで教団やそのフロント組織が開いた『UPFラテンアメリカサミット2018』『中南米希望前進大会／中南米ファミリーフェスティバル2018』に自民党衆議院議員の穴見陽一や田畑毅（当時）らと参加している。

そんな原田だが、9月19日の講演、同教団と昵懇関係にある彼は直近の世界情勢に触れた場面で痛恨の言い間違いを犯す。

「先日、金正恩（キムジョンオン）と文鮮明（ブンセンメイ）さんが会談しまして」

韓国の文在寅大統領を統一教会の教祖・文鮮明と混同、言い間違えてしまったのだ。その後は「金正恩と文在寅（ムン・ジェイン）」と、そつなく発言していた。

◆統一教会昵懇議員を直撃

講演終了後、ロビーには著書の購入者にサイン会を行う原田の姿があった。著書といっても原田の公式サイトでの活動ブログを転載しただけのものだ。書籍を購入し、サイン会の列に並んだ。筆者の前に並んでいた人物が原田に渡した名刺には「幸福実現党広報本部長」とあった。

ほどなくして筆者の番となり、購入した書籍にサインを書き入れる原田に話しかけた。

——文在寅（ムンジェイン）のことを文鮮明（ブンセンメイ）と言いま間違えませんでしたか？

「え？」

——金正恩と文鮮明って

「ありゃ、ずっと言ってた？」

——いえ、最初だけ

「ははははは」

——「文（ぶん）」と言ったらやっぱり「鮮明」ですか？

「そうそうそうそう」

——原田さんは統一教会関連のイベントに出てますが、統一教会との関連はありますか？

「そうそうそうそう」

教団側からのアプローチについて質すと「まあ、選挙やってるとね」と認め「いろんなお世話にはなってるんでしょうね」「付き合いもあるし」と続けた。

あっけらかんと教団との関係を認める原田。

取材動画：杉田水脈「見ての通り私大丈夫」原田義昭「金正恩と文鮮明が会談」講演会で発言

◆新閣僚に親統一教会議員が多数抜擢

第4次安倍改造内閣で原田は、やはり統一教会と昵懇関係にある中川雅治参議院議員と入れ替わる形で環境大臣に任命された。

ここ数年来、同教団への貢献度が閣僚人事に影響しているかのような任命事例が続いている。中でも環境大臣のポストは統一教会枠のような扱いとなっている。

環境副大臣には、安倍晋三が2010年2月に講演を行った教団関連団体『世界戦略総合研究所』において、同時期に講演し、3か月後の同年5月に統一教会から依頼を受けて国会質問をしたとされる秋元司衆議院議員（自民党）が登用されている。

その他、当連載の第11回で触れたように同教団の岡山一万人大会に来賓出席した山下貴司が法務大臣に、勝共UNITEをSNSで宣伝し『PEACEROAD』四国実行委員長を務める平井卓也が科学技術大臣にそれぞれ任命されるなど、親統一教会議員の抜擢が目立つ人事となった。

◆幕張メッセ青年信者大会「提言2050」に2人の衆議院議員

2018年9月9日、統一教会は千葉県の幕張メッセで青年イベント『提言 JAPAN 2050 ユース・フェスティバル』を開催、2名の衆議院議員が来賓として挨拶した。教団サイドは各メディアに対しプレスリリースで「主催者側からの要望」として、来賓議員の撮影や報道を控えるよう伝えていた。

筆者とやや日刊カルト新聞の藤倉善郎総裁は会場への潜入取材を試みるも、各所に配置された対策チームの信者係員に見咎められ会場内へは入れなかった。対策チームの一人はこう語った。

「国会議員の挨拶があるので見せるわけにはいかない」

その後も、対策チームは共用部から見えるモニターに映った来賓議員の姿を撮影させまいと必死の妨害を続けた。モニターが見えないように暗幕まで張る周到ぶりだ。

イベント参加者によると、来賓として挨拶したのは2人の自民党衆議院議員。うち一人は横浜のいちょう団地が選挙区と発言。該当する神奈川5区の選出議員に照会したが確証は得られなかった。もう一人の代議士については翌月、誰であったか判明する。

◆「文鮮明先生の話に感銘を受け学習」自民党代議士が来賓挨拶

10月21日午後、統一教会は愛知県武道館に約4000人の2世信者らを動員、文ヨナ（ヨナ）世界平和女性連合会長（当時）を主賓に迎え『神日本家庭連合 第3地区 HJ 未来フェス 未来を動かすチカラ』を開いた。主催はYSP／世界平和青年学生連合（旧称・世界平和青年連合）、完全な教団イベントだ。このイベントに自民党の国会議員が来賓出席した。

来賓として挨拶したのは自民党の神田憲次衆議院議員（愛知5区落選、比例東海ブロック復活）。神田は壇上で深く御辞儀をした後、こう述べた。

「文鮮明先生、そして韓鶴子総裁、さらには今日お見えの文ヨナ様、そして世界平和連合、青年の皆様」「わたくし自らも皆さまのお仲間と共に定例の家庭集会をさせていただき、そして日々、文鮮明先生のそのこれまでの話等々に感銘を受け学習をさせていただいておる一人でございます」

さらに神田は、前月の幕張大会にも来賓として出席し審査員をしていたと発言、思わぬところから幕張イベントの来賓議員が判明した。

神田議員の国会事務所の秘書によると、土日祝祭日の神田議員のスケジュール管理は地元の愛知事務所の管轄だという。国会事務所と地元事務所に同教団やその関連機関との関係などを問う質問書をFAX送信したが回答は得られなかった。

◆国家復帰に関する仰天内部文書

次稿では、新たに入手した教団内部資料から、統一教会を日本の国教にするという“国家復帰プロジェクト”に関する新たな内部通達を検証する。

そこには、韓鶴子が広島に原爆が「落ちた」ことを引き合いにして日本へ「悔い改め」を迫り、日本の幹部に対し「国家復帰」のために「日本の最高指導者」を「屈服」させ「教育」する指令が書かれていた。（文中敬称略）

<鈴木エイト（やや日刊カルト新聞主筆）・Twitter ID：@cult_and_fraud>

すずきえいと●滋賀県生まれ。日本大学卒業 2009年創刊のニュースサイト「やや日刊カルト新聞」で副代表～主筆を歴任。2011年よりジャーナリスト活動を始め「週刊朝日」「AERA」「東洋経済」「ダイヤモンド」に寄稿。宗教と政治というテーマのほかに宗教2世問題や反ワクチン問題取材トークイベントの主催も行う。共著に『徹底検証 日本の右傾化』（筑摩選書）

前環境大臣・原田義昭氏激白。「統一教会イベントに自民党から10名が出席」<政界宗教汚染～安倍政権と問題教団の歪な共存関係・第21回>

2019・10/26(土) 8:33 配信

HARBOR BUSINESS Online

前環境大臣・原田義昭氏激白。「統一教会イベントに自民党から10名が出席」<政界宗教汚染～安倍政権と問題教団の歪な共存関係・第21回>

統一教会のジャパンサミットで来賓挨拶する原田義昭前環境大臣(世界平和統一家庭連合＝統一教会のサイト「PeaceTV」より)

愛知県で10月初旬、相次いで統一教会（世界平和統一家庭連合）が大規模イベントを開催した。来賓出席した国会議員に質問書を送信したところ、5日のジャパンサミットで来賓あいさつをした前閣僚から直接、電話がかかってきた。その内容は驚くべきものだった。

た。

⇒【画像】統一教会幹部とジャパンサミットに来賓出席した国会議員

前環境大臣本人からの「一本の電話」

愛知での統一教会イベントの来賓国会議員へ13日日中に出席の経緯や支援の有無、道義的責任などを問う質問書をFAXしたところ、同日夜になって原田義昭前環境大臣本人から直接筆者に電話がかかってきた。統一教会やその関連団体と付き合いを続ける理由をここまで政治家が語った例は貴重だ。やり取りを整理し書き出してみた。

以下、電話でのやり取りである。

「衆議院議員の原田義昭です。質問事項読みました。私は逆に疑問を感じているのですが、正面から答えることは次の理由でできません。なぜかというとは私はこの種の会合、仕事柄無数に出ています。特定の宗教だからとか団体だからどうだとか、そういう立場にはないです。だから私たちも、あの時もずいぶん自民党、出てましたが、なぜ出たかとか、どう思っているかというのは、私たちの立場からすると、呼ばれれば誰でも出ていますし、たくさんの宗教団体とも結果的には付き合ってます」

——以前直接お話しさせていただいた時もいろいろ勝共連合とか選挙の絡みがあるから付き合いしていると仰っていましたが。

〈参照：原田環境大臣、就任前に杉田水脈議員との講演会で韓国大統領を「文鮮明」と失言 | HBOL〉

「行ったぐらいだから付き合いはありますよ、だからといって、それがどういう団体であるかとか、少なくとも社会的に何とか勢力みたいなものなら、もちろんあれしますけれども」

——統一教会の場合はやはり靈感商法などいろいろ問題になった団体じゃないですか。

「いやいやそれはそれぞれの歴史やらあるのか僕は詳らかじゃないけれども、しかし別に私共はちゃんとした組織としてちゃんとした活動をやっているのに対して、あなたは過去にこうだったからと詮索をしませんし」

——過去じゃなくて現在進行形でいろいろ問題を起こしている団体です。

「私はそれは存じません」

——そういうところとお付き合いされているのは問題ではないかという主旨で取材している。

「そのようですけどね、別に私どもはそんな風に聞いても認識もしていませんし、ちゃんと活動してらっしゃるし」

——そうなんですか？

「それはあなたがそういう風に研究してらっしゃるのかもしれませんが、そこは私どもは別にちゃんとした政治活動の中で話すことも話してます。だからねこういう風におかしい団体だからなぜ行ったんだと言われても、私どもからすれば特段の問題も感じてません」

——統一教会に関しては特に何も問題も感じてないということなんですか、原田先生は。

「過去は知らないけれども私は今どういう風にやっているかも聞いていませんし」

——靈感商法とか正体隠し勧誘とか。

「そんなこと言ったら別に僕は反論はしませんけれども、そんなこと言ったらどこの組織も団体でも政党でもですよ、私が今付き合っているところについては、そのように考えてます。だからなぜ行ったんだとか、どういう風に思っているかと言われても、それはコメントする立場にはないですから。それはそれぞれの人が考えていただければいいだけのことで」

「自民党の細田さんも含めて 10 人は出てる」

——原田先生はすごく多いですよ統一教会関係、UNITE*とかピースロード**とか。

<*勝共 UNITE=国際勝共連合の傘下団体、メンバーは統一教会 2 世。参照>

<**自転車でリレーをつないで日韓トンネルなどの荒唐無稽なプロジェクトを成功に導くための祈願として教団が毎年信者にやらせているもの>

「それはちょっと待ってください、それはね私はちゃんとした活動でお呼びがかかれば時間の許す限り行きますよ。他のあれだってお呼び出しがかかればみんな行きますからね、ダメと思ったら」

——ほかの支援団体や業界団体と変わらず付き合っているというスタンスなんですね。

「もちろんそうですよ、宗教をとったってずいぶんありますし任意団体だってたくさんありますよ」

——この団体は宗教だからダメということではなくて、いろんな社会問題を現在も起こし続けてきて何億円も被害を受けている人が大勢いるんですよ。

「それはちゃんとそういうその普通の活動に対してですね」

——普通の活動？

「いやだから、こういう会合に出ていることをもって判断をしていただくのは構わないが、それがいいか悪いか、出ている以上は別に特段の反社会的行動とも思っていません。私ばかりじゃなく、自民党の細田さんも含めてある程度 10 人ぐらいは出ている、みんなそこは鈴木さん、我々政治家は別に呼ばれたら行くというわけじゃないけどね、ただ普通の良識ある組織や団体なら、別にそのことを頭から言うのはあんまりしてありません」

——別に僕も普通の良識ある団体だったら何も言いませんよ。

「それは鈴木さん、他の方も聞いていただければいいだけのことで、私はそこで評価して、その靈感かどうかという立場にはありませんし、あなたと議論してもですよ、あなたはそういう風にね」

全国弁連の要望書は「知りません」

——弁護士団体からこういう要望書が届いているのは今回お読みになってないですかね？

「それは私は知りませんし、僕も弁護士でありますけども」

——最初、教団側は20人ぐらい国会議員が参加するという話をしてたんですよ、前もって。

「ああそうなんですか」

——実際は原田先生含めて9人だったじゃないですか。

「ああそうなんですか」

——だいぶ（参加を取り）やめた方も多いのではないかと。

「いえいえ私は別に全て自分の信念で、また自分の情報でやっていますからね、それは鈴木さん、我々政治家になぜ出たかと聞かれても皆多分同じ答えになると思いますけどね。自分の政治的立場でやっているだけであって、また、人間としての活動でやっているだけであって、呼ばれたとか非難された方がいるかも知れんし僕はまあいくらでもやっていたければいいのであって、だからもうこれ以上は議論しませんが。出た事実があるのは事実ですからそこは評価していただいて構いませんから」

問題ある団体だと思っていないことが判明

——原田先生の仰ることは判りました。問題ある団体とは思っていないということですよね。それならそれで僕も報道します。それを読んだ有権者が次（の選挙の際）に判断するものですから。

「それはその通りです。ただそういうことでね、あなたに（質問書を）せっかくいただいたので」

——直接お電話いただいてありがとうございます。

「僕はやっぱりあんまり間接的に言ってね、誤解して人を介して言ってもいかんということで一言」

——自民党の議員からは無視されることが多くて、こうやって。

「いやいやむしろ私もその方がいいとは思いましたが、やっぱりそういうご意見やらご疑問を持ってらっしゃることに対して、私たちはきちっと答えることも一つの姿勢だと思いますから」

——回答の内容は別にして、ちゃんと答えていただいたことには感謝しています。

「それはありがとう、いやいやどうもお邪魔いたしました」

誠実な回答も内容は現状認識に問題あり

発言内容はさて置き、直接回答をするという原田前環境大臣の姿勢自体は評価できるものだ。ただし、統一教会の引き起こしてきた社会問題を「認識もしていません」「過去は知らない」と無視していることや、教団に対して「ちゃんとした組織としてちゃんとした活動をしている」「普通の良識ある組織や団体」「特段の問題も感じていない」と捉えていることには驚きを禁じ得ない。「統一教会が問題ある団体である」という前提事項自体の共有ができていないということになる。これは国民の安全を守る政治家としては致命的な認識の欠如である。

さらには「全て自分の信念」「自分の情報」「自分の政治的立場でやっているだけ」と、開き直りとも取れる発言もあった。

原田前大臣はこうも答えている。

「出た事実があるのは事実ですからそこは評価していただいて構いません」

であれば、次の選挙で有権者がどう投票判断をするかである。

(文中敬称略)

【来賓政治家一覧（敬称略）】

10/5 ジャパンサミット

・衆議院議員

細田博之元内閣官房長官、原田義昭前環境相、奥野信亮、工藤彰三

・参議院議員

北村経夫、江島潔、島村大

・前参議院議員

伊達忠一前参院議長

10/5 午後のセッション『太平洋文明圏時代—東アジアの平和と日韓米連携の展望—』
長尾敬衆議院議員

10/5 晩餐会

大野功統元防衛庁長官

10/6 4万人大会

・衆議院議員

工藤彰三、池田佳隆

・元衆議院議員

鈴木克昌、東郷哲也

・地方議員

天野正基（新政あいち県議団）ら 150 名

・祝電知事

大村秀章（愛知）、杉本達治（福井）、鈴木英敬（三重）

10/7 ジャパンサミット&4万人大会祝勝会

天野正基（新政あいち県議団）

<取材・文／鈴木エイト>

【鈴木エイト】

すずきえいと●やや日刊カルト新聞主筆・Twitter ID：@cult_and_fraud。滋賀県生まれ。日本大学卒業 2009年創刊のニュースサイト「やや日刊カルト新聞」で副代表～主筆を歴任。2011年よりジャーナリスト活動を始め「週刊朝日」「AERA」「東洋経済」「ダイヤモンド」に寄稿。宗教と政治というテーマのほかに宗教2世問題や反ワクチン問題取材しトークイベントの主催も行う。共著に『徹底検証 日本の右傾化』（筑摩選書）

・ハーバー・ビジネス・オンライン